

い せ わん たい ふう 伊勢湾台風

○ 伊勢湾台風とは

1959年（昭和34年）9月26日に和歌山県潮岬付近に上陸し、紀伊半島から東海地方を中心とし、ほぼ全国にわたって甚大な被害を及ぼした台風です。

台風は26日18時過ぎ、930 hPa の勢力をもったまま潮岬の西15 km 付近に上陸し、その後、紀伊半島を縦断しました。名古屋での平均風速は、約37 m/s、瞬間には45 m/s を超えました。風速25 m/s 以上の暴風圏が直径700 kmもあったということです。そして、全国で5,098人の死者・行方不明者、38,921人の負傷者を出す、大きな被害をもたらしました。

○ 愛知県の被害は？

愛知県には、26日の21時ごろ最も接近し、暴風や高潮、大雨などによって今までにない大きな被害が出ました。

【暴風雨】

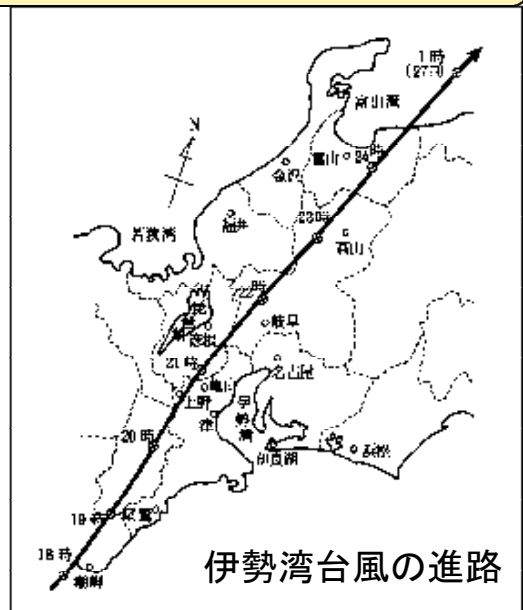
- ・最大風速 37m/s（人は立っておれない、木は根こそぎ倒れるなど、甚大な被害となる）

【高潮】

- ・通常より5m以上の高い波（堤防を越える）

【大雨】

- ・雨は、1時間に50mm以上（非常に激しい雨、滝のように降り、寝ている人も起きる。）



愛知県の被害状況

* 人的被害	死者 3, 168人	行方不明者 92人	負傷者 59, 045人
* 住家被害	全壊 23, 334戸	半壊 97, 049戸	流失 3, 194戸
	床上浸水 53, 560戸	床下浸水 62, 831戸	

○ 知多半島の人的な被害状況は？

行政区分 (当時)		死者・ 行方不明者 (現在)	行政区分 (当時)		死者・ 行方不明者 (現在)
知多郡上野町	東海市	140人	知多郡美浜町	美浜町	4人
// 横須賀町		3人	// 師崎町	南知多町	2人
// 知多町	9人	// 内海町	1人		
// 東浦町	東浦町	25人	// 豊浜町		3人
// 大府町	大府市	5人	半田市	半田市	290人
// 阿久比町	阿久比町	8人	常滑市	常滑市	12人
// 武豊町	武豊町	9人			

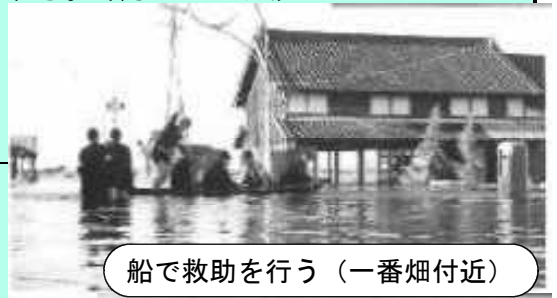
○ 名和町の様子は？

9月26日、16時頃から風雨が強くなり始め、20時ころから学校に避難する人も出てきた。21時30分頃、天白川の両岸や浅間山堤防が崩れ、海・川の水が名和町を襲い始めた。30戸以上の住家が水没し、100人以上が行方不明となった。その間、強い風と雨が衰えることなく続いた。

その後の当時の記録

【 昭和34年（1959年） 】

日付	できごと
9月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・16時に暴風警報が出される。 ・20時頃から名和小学校に避難者が来る。(約600人) ・21時30分頃、南柴田や浅山新田の堤防がくずれ、大洪水となる。 ・23時頃から風雨がおさまり始める。
9月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・死体収容所（薬師寺）に遺体が運び込まれ始める。 ・炊き出しが始まる。 ・18時頃、県から給水車が来る。 ・学校の応接室が救護本部となる。 ・20時頃から自衛隊の救出活動が始まる。
9月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の調べで名和小学校児童の死者が25名とわかる。
10月 1日	<ul style="list-style-type: none"> ・児童集会①（災害状況の調べ、生活指導） ・上野町の死者と行方不明者が140名だとわかる。 ・昼頃、学校に電気が通じる。
10月 2日	<ul style="list-style-type: none"> ・不通であった名鉄電車が聚楽園まで来る。
10月 5日	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方が全員集まり、対応を話し合う。
10月 6日	<ul style="list-style-type: none"> ・児童集会②（教科書のない児童を調べる） 〔被害の概要〕 ＊家が完全にこわれる。流される。 … 142件 ＊家が半分がこわれる。 … 235件 ＊家の中に水が入ってきた。 … 189件
10月 7日	<ul style="list-style-type: none"> ・台風16号が近づいたため、学校への避難者が増える。



船で救助を行う（一番畑付近）



給水車が到着



運動場に到着した自衛隊



自宅が全壊した中学生

10月 8日	<ul style="list-style-type: none"> • 学校の修繕が始まる。(消防団、青年団、PTA) • 救援物資が届くようになる。
10月 9日	<ul style="list-style-type: none"> • 児童集会③(健康状況などを確認する) • 学校への避難者が一番畑・北脇の保育園に移る。 • PTAの勤労奉仕が始まる。
10月11日	<ul style="list-style-type: none"> • 学校の先生とPTA約400名で、教室の整備を行う。
10月12日	<ul style="list-style-type: none"> • まだ水は引いていないが、潮が引く約2時間くらいの間に授業を行う。
10月16日	<ul style="list-style-type: none"> • 名和小学校以上の被害を受けた白水小、千鳥小(現：名古屋市)から32名の転入児童が来る。
10月26日	<ul style="list-style-type: none"> • 普通授業が始まる。下校は先生引率で一斉下校。
11月 5日	<ul style="list-style-type: none"> • 堤防の1次工事が終わるが、国道には30cmほど水が残る。
11月 7日	<ul style="list-style-type: none"> • 自衛隊への感謝式が運動場で行われる。
11月12日	<ul style="list-style-type: none"> • 運動場で亡くなった方の合同葬が行われる。参会者約2000名。
11月15日	<ul style="list-style-type: none"> • 名鉄常滑線が通常通りの運転を始める。 • 炊き出しなどの救援活動が終わる。
11月28日	<ul style="list-style-type: none"> • 水がすべて引く。



同窓会館(西倉庫)の修繕



教室の整備



児童の食事の準備をする先生と保護者



自衛隊への感謝式(運動場)



亡くなった方の合同葬(運動場)

※昭和34年当時

- 学級数 … 23学級
- 児童数 … 1154人
- 教員数 … 28人